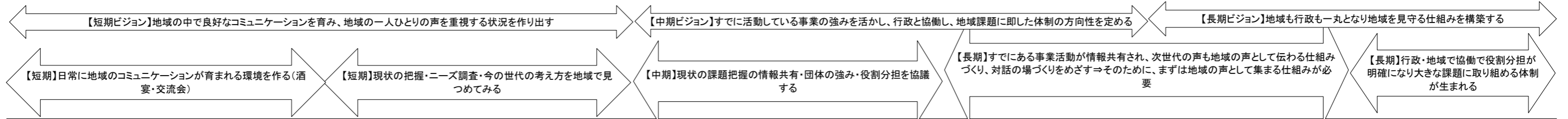


地域コミュニティワークショップ 意見一覧（佐保台地区、第2回）



	役員になってくれる人がいない問題	地域の高齢化問題	パトロール参加者問題	父親が家庭に・地域に参加問題	あと10年後、増える高齢者を支える問題	買い物・通院・飲み屋無し問題	一人暮らしの高齢者を地域で支える問題	買い物・交通・医療が不便問題	一人暮らしの高齢者を地域で支える問題	集まるのがいつも同じメンバー問題	にぎわい活動に人の連続性がない問題	ロータリー活用問題	時代に合わなくなった環境(子育てしやすい環境づくり)	地域の各団体の情報共有問題	助け合いを活かし、子ども増加に向き合う
行政が取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> 活動費支援 役員特別ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者への教育充実 ポイント制度導入 ポイント優遇(佐保台特別制度) 見守りパトロールポイント 家族ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの激励(記念品の贈呈) ゆるキャラ応援 ミス奈良の応援 プレミア感のプレゼント 	<ul style="list-style-type: none"> 父親⇒休みやすい社会環境を 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な施設を誘致する 久宝寺駅みたいに 行政が活動を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前再開発 建築規制を緩和する(特に駅周辺) 高齢者が駅周辺のマンションへ 空いた戸建て住宅をリノベーションする 奈良交通の乗り換え割引 	<ul style="list-style-type: none"> 生活インフラ 	<ul style="list-style-type: none"> 階段⇒エレベーター・エスケーター 平城山駅前の開発について明らかにする 路線バスのワンストップでイトーヨーカドーへ 	<ul style="list-style-type: none"> 生活インフラ 	<ul style="list-style-type: none"> 行政には行うことを認めてもらえればよい 	<ul style="list-style-type: none"> 決定した情報しか伝わって来ない(幼稚園の廃園の話など) 行政から地域への情報共有 行政にも連続性がない イベントの話だけではいいので手伝ってもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー道遊べない 子どもが遊べるようにする 遊べる広場が無い⇒西町公園があるが環境が良くない 	<ul style="list-style-type: none"> 土地の利用規制を外す 	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの「金」を一本化 テーマを決めてコーディネートする地区担当制 モノは有る 自防共⇔民生 	
地域取り組むが協働して	<ul style="list-style-type: none"> PR啓発活動 活動内容の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 呼びかけイベント イベント行事の実施 自己犯罪への自注意 講演を自由に使えるように 活動の場の提供 毎都市秋に地域運動会 情報交換 防災意識時に火事の対応 活力の増進に取り組む サークルの場を活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> 男性の社会参加への行政からの啓発を進める 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート票の作成 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの運行 万一の時の保険をかける 便を増やすのは難しいのでルートを見直すことで解決できないか 地域もバスを利用して協力する 左京子ども園のバスを地域で有効活用できないか 教育委員会は協力難しい? 昼間開いている時間使えないか 		<ul style="list-style-type: none"> 園バスの活用⇒買い物・病院 	<ul style="list-style-type: none"> 役職を強制する 無関心⇒関心 一度、強制的に役職につく きっかけをつくること 地域の趣味の集まりの話 年一回のイベントを開く(例)テニス大会 地域から人・モノ借りて⇒行政書類の簡略化 	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市でできるか情報が欲しい 役員がその地域に情報提供する場づくり 一部の役員しか情報入ってこない 連続性を必要としない活動にする 佐保台に住んでいる奈良市職員は地域のイベントに参加してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> 対話 	<ul style="list-style-type: none"> スーパーが地域にない(誘致) 医療機関が地域にない 駅エレベーター 	<ul style="list-style-type: none"> 行政と地域でどう情報共有できるか考える 情報共有する場を設ける 		
市民・個人で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> 酒宴 役員を増す/倍増 自治会で強制的に割り当て できることしかない 盛上げる 負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 酒宴 活動の後の楽しみ サポートネットの活用 緊急連絡網の登録 一つのハンデ見守りする(10戸程度) 現役として活動の場 飲み屋でポイント還元 近所の絆 子どもふれあい 建物のリノベーションに若者を 	<ul style="list-style-type: none"> 酒宴 お楽しみ会開催 参加賞を配る 自治会の割り当て参加 	<ul style="list-style-type: none"> 母親も仕事持っている人多い⇒父親に参加し欲しい 父親の交流の場所(地域の中で)で少ない⇒場所づくり 学校の参加や役員の状況はどうだろうか? あいさつから スポーツの会など、男性が参加しやすい会(集会)づくり ソフトボール・ソフトバレーボールなど男性多くの参加有り 会の若い父親は昔に比べ良くやっている 家庭内のことが多いのでは? 共働きシングル家庭が増えている 2年前に佐保台に住居した立場からも多くの場があると思う 佐保台ミニキャンプで父親が頑張っている 	<ul style="list-style-type: none"> 全世帯住民に(女性・子ども)にアンケート調査を行う 住民の意識を高める(一致させる) 向こう三軒両隣で見守る 住民の健康を維持するために ふれあいサロン健康づくり体操を 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物調査する 周辺施設を住民が意識して利用するようにする 住民に啓発する バスも常時10人位乗っている でも乗っている人は殆ど100円で 	<ul style="list-style-type: none"> 民生と話し合う機会を作る 情報があればサポートできる 回覧板を持っていく毎に見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有 ニーズの取りまとめ 代行 	<ul style="list-style-type: none"> 民生と話し合う機会を作る 情報があればサポートできる 回覧板を持っていく毎に見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 連合に入れればいろんな活動が見えてくる 万青・グリーンサポート 自治会の活動内容知ってもらう 防犯・自治会から役員 楽しめるうちに楽しむ 自治会の金が一部の人のしか一部の人にしか回っていないことになっている とりあえず100人の人が楽しめればよいという考えがダメ ウェルカムな空気を作る 新しい人が入りにくい 勤めている人はやはり入りにくい 働いている世代は役割が終わったら続かない 団体ごとに役割がきちり決まっているので他の人が入りにくい 団塊世代に期待 団体のメンバーにも温度差がある 団塊の世代は個々での活動、その上で地域運営 父兄の方にミニキャンプに参加して下さる 	<ul style="list-style-type: none"> 他地域の同コミュニティ交流 後継者を育てる 若い父親が活躍してもらおう やりたくてやっている訳ではない 問題を引き継ぐほど人がいない 活動を行っている人に対して文句をいう人がいる 周りに理解してもらえない 住民が情報を得ようとする姿勢が重要 子どもを軸に複数の団体に未来を考える機会を作る 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい子ども会の運営方法を考える 西町⇒段階的に開発された地域=まとまりが良くない 地域の中で何か良いもの(集団)つくる⇒自治会が無い(一部) 環境が良いだけで子どもにも良いとは言えない現状 	<ul style="list-style-type: none"> 生活弱者のサポート/情報共有 弱者の情報を民生と自防共が持っている 地域で見守る仕組み 各種団体の活動の共有 万青・民生・社協・自防共情報共有 地域の催し/民生から情報提供 		